



# 水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H30.06.20

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立広瀬小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所から流水調整課2名が対応しました。

人なつっこくとても元気な皆さんで、クイズ形式の勉強タイムでは、活発に手を挙げて発言してくれました。

ぽつぽつと雨が降る中で向かった魚道観察室では、ときおり現れる大きなコイの力強い目に驚きの声を上げたり、カニを見つけて笑顔になったりと、楽しそうな姿をたくさん見せてくれました。

お天気と時間の都合で、操作室と展望デッキは見学できませんでしたが、先生から「充実した時間を過ごせました。次回はアユの遡上の時期に来れたら、子供たちもきっと喜ぶだろうと思います。」と笑顔になって見学の感想を下さいました。

## 団体見学概要

日 時： 平成30年6月19日（火） 11:00～12:00

会 場： 水ときらめき紀の川館

参加人数：26名（生徒24名、先生2名）

団体名： 和歌山市立広瀬小学校4年生



## 1. 紀の川大堰概要説明

最初に、職員の説明で、スライドを用いて紀の川と紀の川大堰の仕組みや役割をクイズ形式で学びました。

たくさんの答えが飛び出し、和気あいあいと楽しい学習時間になりました。



## 2. 館外の魚道見学

大粒の雨がぽつぽつ降る中、魚道に向けて元気に出発しました。



人工河川式魚道。  
小川のようなゆるやかな流れだよ。

手前が階段式魚道、奥がデニバチ魚道。  
造りも水の流れの勢いもちがうのがわかるね。

人工河川式、階段式、デニバチの3種類の魚道を上からのぞいて、流れ方の違いを確認しました。

まだ雨の降り始めなので、水は濁っておらず、ボラやコイの姿もたくさん見れました。



魚道観察室出入口付近にあるベンケイガニのお家。そーっとのぞいてみました。



コイさん、ボラさん、早く出ておいで〜



紀の川大堰上流部と下流部の水面の高さに注目！ゲートを降ろして、たくさんの水を貯めているのがわかります。

## 質問

Q.(魚道にて)ゴーゴーと水が流れる大きな音になっているけれど、どこから聞こえているの？

A.これは「呼び水水路」から水が流れる音です。呼び水水路から常に水を流すことで、魚たちは迷わず魚道見つけて通ることができるのです。

また、紀の川大堰の上流と下流では、水の高さの差が、小さいときでも2.5m程度あるので、大きな音を立てて勢いよく流れていきます。

